令和５年度第２回 蓮田市総合文化会館運営協議会 議事録

開催日時	令和５年１０月３日（火）午後５時～午後５時５７分
開催場所	ハストピア　多目的ルーム
記　録　者	今井　由美子
出　席　者	会　　長　関口　茂 副 会 長　山田　正恵 委　　員　塚本　聖子 委　　員　茶畑　正一 委　　員　佐藤　淳 委　　員　関根　正昌 委　　員　渡辺　弘 事務局　山口　京子　市長 西山　通夫　教育長 生涯学習部次長兼文化スポーツ課　課長　小野寺　潤 副主幹　山口　昌昭 主査　今井　由美子
	資料の確認 ＞次第 ＞資料１　蓮田市総合文化会館運営協議会委員名簿 ＞資料２　蓮田市総合文化会館運営協議会設置要綱 ＞資料３　令和５年度稼働率（集計） ＞資料４　令和５年度使用料 ＞資料５　令和５年度ハストピア事業実施状況 ＞資料６　令和６年度ハストピア事業計画（案） ＞抜粋　（仮称）蓮田市総合文化会館　管理運営計画 ・令和５年度第１回蓮田市総合文化会館運営協議会　議事録（案） 〈当日配布資料〉 ・事業評価　判断基準 ・蓮田市総合文化会館運営状況調査報告書（速報版） ・今後文化スポーツ課で開催予定の文化イベントのチラシ １.開会　小野寺課長 ２.会長あいさつ ３.市長あいさつ ４．議事 (1) 令和５年度事業実施状況 （事務局）　令和５年度事業実施状況の説明 （委員）　スタジオ１・２・３の稼働率が非常に高いが、これは予約の段階でほぼ100%なのか、終わってみたら100%ということなのか。 新規は入れる隙間はあるのか。ここまで稼働率が上がっているという

	ことはほとんど同じ顔ぶれの方が使っていると思うが新規が入れる可能性があるのかないのか。もう一つ、事業報告という形でどきどきホールに関する事業の報告がいつも上がってくると思うが、その他諸室について何かサポーターズさんなり、あるいは館独自でのイベント、試み、これから考えてまだまだ空いている和室、ギャラリーそういうところの稼働率を上げていくというような何かお考えがあるのか、ないのか。なければ我々も一緒に考えるので、考えて稼働率、使用率を上げていきたいと思う。 （事務局）　まずスタジオ１・２・３は委員のおっしゃられるように毎回ではないがおなじみの方がいらっしゃっているのが現状である。スタジオ２・３は特に皆さん同じような方が毎晩というわけではないが、来られているのが見受けられる。ほぼ仮予約の段階で埋まっている状況で、新規の方が当日だったり、前日だったり電話して来られるというのは少ない感じである。和室、ギャラリーの取り組みは、一つ申し訳なかったが、令和５年８月１９日、資料の方でいうと７頁だが、「イラスト教室」を、こちらはお子さん対象で、参加者は 13 人ということで創作ルームを使った教室を開催させていただいている。こちらは大変盛況だったので今後は大人の方のイラスト教室をやってみようという状況である。ただ、おっしゃられるように和室の稼働率というか創作ルームもそうだが、なかなか稼働率が上がっていないのが現状である。和室の利用で多いのは着物の展示会のような利用が多い。また、本来、茶道の方もできるような部屋の施設であると思うので、お花だったり茶道だったり、あとは、将棋、囲碁とそういったことが企画できればいいかと思うが、今はまだできていないのが現状である。 (2) 令和６年度事業計画（案） （事務局）　令和６年度事業計画（案）の説明 （委員）　先ほど申し上げたことをもう一度繰り返しになるが、６年度の事業計画等をするときは諸室のことも少し入れたほうが良いと思う。イラスト教室も盛況だったので大人もやりたいと言っておきながら、ここに入っていない、だったら入れた方がいい。和室の使い方はいいっぱいあると思う。たとえば、和太鼓があって、和楽器は和室で色々ワークショップできる、いうふうな発想がいろいろ出てくると思う。ある程度予算立てがうまくいくかどうかわからないですが、予算が取れる範囲で取ってその中でたとえば、先生を呼ぶ、ワークショップしてくれる方を見つける、ギャラリーもそうですが、絵を教えてくれる人を呼ぶ、書道を教えてくれる人を呼ぶ、創作室で焼き物を教えてくれる人を呼ぶというのも発展の方法としてあると思うので、ぜひ諸室に関してもどういうふうにしていくのかを事業の計画の中に入れた方がハストピア全体のイメージがつかみやすいかと思う。 （事務局）　貴重なご意見ありがとうございます。確かに我々も予算を組むときにどうしても委託料の関係で、ホールの事業がメインになってしまうが、委員のおっしゃられるように、全体を見たときに普及の部分、もう少し細かいところまで行き届くような形で教室などもやっていければと思っている。また、個別にお知恵拝借ではないが、ぜひお声がけをさせていただくのでこういうのがあるというのをお伺いさ

		せていただきたい。予算については、ホールを使ったものと、諸室を使ったもので予算の枠（支出する先）が若干違うところがあるので、この委託料とは別に、例えば講師に来ていただく、先生に謝礼を払うといった対応ができる予算を我々持ち合わせているのでそちらで対応させていただくような事業についても令和６年度に加えて進めてまいりたい。会議が終わったらお話を、こういうのがありますとか、またこういう先生を知っているということを、ぜひお知恵を拝借させていただければと思うのでよろしくお願い申し上げる。
	（委員）	素朴な疑問だが、有名な方を招致するには、ポスターを作るとなると値段もちょっと上がったり、色具合でというのがあるのか。こういうものとこういうものを作るのでは、印刷代は変わるのか。五条院さんが来た昨年４年度は、印刷代が高めだった気がしたが、そういうのは影響があるのか。
	（事務局）	印刷費用については、どこの印刷業者さんへ頼むかというのもあるので、なかなか一概には言えないが、サポーターズのメンバーで印刷を手掛けていただいている方がいて、そちらだとサポーターズまごころ価格ということでやっていただけているというのが一つ現状ではある。それぞれ、今の東京混声、昨年度やりました五条院凌さんもそうだが、それぞれの会社さんで持っている、抱えている印刷業者さんで頼むのが一番早いというか、間違いなく入稿していただけるということもあるので、そちらから見積りを取って印刷にかけているというのが現状である。また、少し話がそれてしまうが、今回の「黒浜沼の河童」について、またまた非常にわがままを私の方から言って、関根社長さんにお願いをして、新聞の紙面への印刷を本当に破格でご協力いただき、この場を借りて本当に感謝申し上げる。ありがとうございました。
	（委員）	すぐ実現できるかどうかわからないが、和室のことで、先ほども出ました、書道とか茶道ももちろん思い浮かぶが、最近、論語の教室、先生が大人も子供も交えて唱えてそれを復唱したりする、その意味を話す子ども論語塾みたいなことをやっている先生がいらっしゃって、そういうのはもちろんこういう場所でもできるが、あえて和室で、昔の寺子屋じゃないが、机並べて正座してやったりするのが返っておもしろいかと思っている。ただ、こちらに、講師の人が蓮田まで来てくれるかどうかわからないが、そういうのも面白いかと思う。
	（委員）	非常に質が上がってきていいと思う。せっかくなので、ジャズナイトは続けないですか。こういった楽しい企画が定期的に定番としてあると、和太鼓とジャズがあるとアクセントとしていいと思う。
	（委員）	こういう時に、帰りのバスがくる（時刻がある）のもいいと思う。
	（事務局）	今２つご質問と言うか、ご意見をいただいて、一つ目の論語ですが、全く不勉強でわからないので調べてみたいと思っている。非常にユニークな発想で、とても私共だと気が付かない部分であるので、それについても勉強させいただき、どういうタイミングでどういう方を対象に、逆に委員さんへどういうところで活動されているのかを一緒に伺いながら、どこで取り入れられるかを考えてみたい。 ジャズナイトの方もありがとうございます。できれば続けてやりたいということで、何か月かに一度くらいはやりたい、少なくとも春と秋、ちょうどいい時期に２回ぐらいは考えていきたい。 委員の皆様に内情を申し上げると、委託料が演者の方が６名だったと

	思うが、それで30万円ということで結構破格の金額で、それも全部混みでその金額ということでお受けをいただいている。キッチンカーも2台出るが、その中でワイン、ビールをお出しして、蓮の葉ロビーと外の一体感を持たせ、こちらの中央舞台さんのお力もちょっと借りて、演出をしっかりした中でやっていきたい。それに加えて、このジャズナイトに皆様にも少しご案内申し上げた、ハストピアのストピキッズ、中学生以下の子供さんが主に蓮田にお住まいになられている方なんですが、こちらのホールで今、結構練習を頻繁にしている、その子たちとコラボレーションするということでその子たちもこのジャズナイトに参加をしてもらいプロの演奏家の人たちと一緒にセッションしていただくというようなことも考えている。初めてやるので、今回どの程度お客さんがいらっしゃるのかそういったところもよく踏まえながら令和6年度についても、いい時期にできればいいということで考えている。 （会長）　ジャズナイトだが、ホールでやるのを外で聴けるということですか。 （事務局）　こちらのジャズナイトについては、いつもストリートピアノを置いてあるホール前の、雨だと心配があるので、一応ホールのロビー前に陣取ってやるような形にしている。 蓮の葉ロビーは、出入り口に解放部分があるので、そこも開けて外に今パラソルを全部出しているが、そういった席や、あとはご自分で好きなチェアーだったり、木にかけないようなハンモックだったり、レジャーシートだったり、思い思いのものを持ってきていただきそれに座って音楽を聴いていただいたり、食事を楽しんでもらったり、自由にお過ごしくださいというようなことになっている。場所的にはロビーの中での演奏を外にも聞こえるような形でオープンにして演奏していただくと、そういった内容である。 5.その他 （事務局）　「事業評価の判断基準」についての説明 「蓮田市総合文化会館運営状況調査報告書（速報版）」についての説明 （委員）　シアターワークショップにお願いした何か理由はあるのか。 （事務局）　管理運営計画を作成したり、ハストピア開館後の支援業務に携わっていただいたりしているので、開館から今、現在の状況がどのような運営状況になるのか、他の業者では開館の状況がわからないということから、シアターワークショップにお願いすることになった。 （委員）　最初コンサルで入っていたということなのか。 （市長）　文化会館を造る前には入っていた。 （事務局）　平成29、30年度は委託して業務支援で入っている。 （事務局）　次回の会議開催等について 6．閉会